



学校給食の完全無償化へ

令和8年度一般会計予算約2116億円を可決

3月定例会は、2月20日から3月13日まで、22日間の会期で開催しました。

初日には、市長の施政方針演説、教育長の教育行政方針演説が行われ、4日からの一般質問には12人が登壇し、市政課題について議論を交わしました。

なお、9日には予算特別委員会を設置し、令和8年度一般会計予算ほか9件について審査を行い、全て可決すべきものと決しました。最終日の13日には、追加で市長提出議案3件が提出され、今定例会に提出された市長提出議案53件は全て原案のとおり承認、同意、可決しました。

3月定例会では、令和8年度一般会計予算が215.6億円とされ、前年度比31.6億円減、12.8%減の緊縮予算として可決されました。人口減少や財政制約が続く中、施策の選択と集中を図りながら、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進める内容です。

主な内容として、学校給食は無償化事業では、小学校分は国の方針により全国一律で無償化、中学校分は市独自の施策として無償化

の実施です。妊産婦支援事業では、助産師を市で雇い、県立釜石病院での宿泊型産後ケアの導入など、産前・産後の切れ目ない支援の充実。地域医療体制維持支援事業では、地域医療連携推進法人の設立により、急性期病院を支える体制の構築が進められます。鈴子地区にぎわい再生検討事業では、釜石駅前の再開発に向けた検討が行われ、中心市街地の活性化が期待されます。また、水産プロジェクトマネージャー配置事業

では、漁村地域のにぎわい創出を担う人材の確保と地域資源の活用。ごみ処理経費では、プラスチックごみの回収を月2回に拡充し、市民生活の利便性向上と環境負荷の低減を図る取組です。さらに、市営住宅地域応援活用事業では、漁業集落部の戸建て復興住宅を低廉な家賃で貸すことにより、当市への移住定住の促進を図ろうとする内容です。

一般質問では、企業誘致や水産行政、地域医療、学校部活動の地域移行、公共施設のユニバーサルデザイン化、学校給食、プレコンセプションケアなどについて質問が行われました。企業誘致では有効求人倍率が1.0倍を下回っている現状を踏まえ、雇用創出と地域経済の活性化が問われました。また、水産行政では担い手確保や資源活用の方に議論がなされました。地域医療では持続可能な医療提供体制、部活動の地域移行では受け皿整備や指導体制、公共施設では誰もが利用しやすい環境整備の必

要性を指摘。学校給食やプレコンセプションケアについても、子どもや若者の健康と生活を支える取組として議論が深まりました。質問に立った議員からは、地域の実情を踏まえた具体的な施策の在り方や、持続可能な制度設計に向けた方向性が提示され、予算の制約は一層厳しさを増すものの、市議会としては今後の取組の着実な推進を求めていきます。

本会では、釜石市議会等のライブ配信を行います。

